

島根県 王子製紙間伐促進プロジェクト

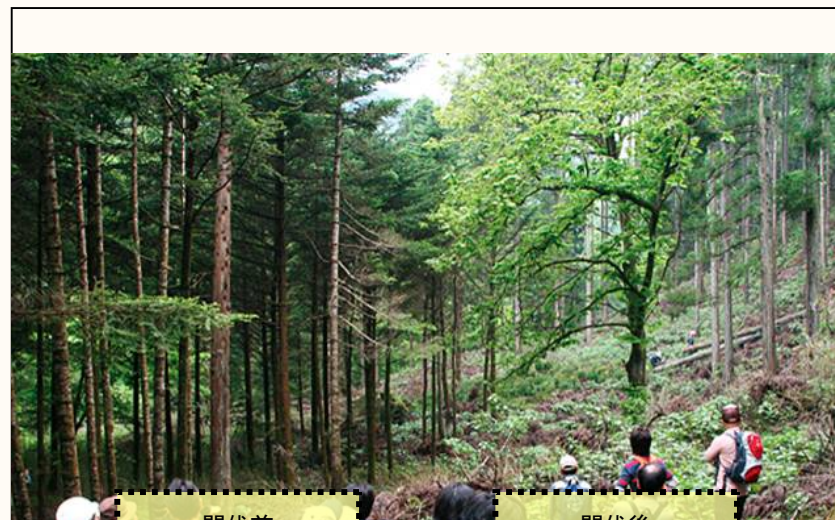
王子製紙グループは、日本全国に広がる700ヶ所、19万haの社有林(民間最大)を、維持・管理しています。木を伐り、次世代の木を育てていくことで、二酸化炭素の吸収促進につなげています。

プロジェクトの実施場所	島根県 吉賀町
吸収量	2011年度 579 t-CO ₂ (発行済)
1t-CO ₂ あたりの希望単価	—

島根県の柿木山林は、同県の最南端にある吉賀町に位置しています。同山林は日本一の清流と言われている高津川水系の上流に位置します。山も深く、過去には山林手入れが遅れていた時期もありましたが、これからも定期的な間伐を計画し、生態系を維持しながら持続的な森林経営を目指します。



柿木



間伐前
林内が暗く、
下層植生が少ない

間伐後
林内が明るく、
下層植生が豊か

きちんと間伐が行われた森林は、豊かな植生と土壌を育み、山崩れや洪水の防止、河川の水質保全、生物多様性の保全に役立っています。

お問い合わせ先: 王子製紙株式会社 資源戦略本部
(tel:03-3563-4392 担当:尾崎)